

---

# 2017年夏の賞与に関する実態調査

---

2017年8月 マイナビ転職情報事業本部 事業統括部 事業推進部 調査課

---

転載・引用につきまして  
レポートの著作権は、株式会社マイナビが保有します。レポートの内容を転載・引用する場合には、出所として  
・弊社名（株式会社マイナビ） 株式会社は省略可  
・調査名称  
・調査時期  
を明記してご利用ください。

ex)  
株式会社マイナビ「ものづくり業界における転職意識調査（2015年11月調査）」によると・・・

【転載・引用に関する注意事項】  
以下の行為は禁止いたします。  
・レポートの一部または全部を改変すること  
・本レポートの一部または全部を販売・出版すること  
・出所を明記せずに転載・引用を行うこと  
・公序良俗に反する利用や違法行為につながる可能性がある利用を行うこと

転載・引用されたことにより、利用者または第三者に損害その他トラブルが発生した場合、当社は一切その責任を負いません。

株式会社マイナビ 転職情報事業本部 調査課  
E-mail: mt-kenkyu@mynavi.jp

調査目的	2017年夏の賞与に関する実態を把握する
調査名	夏の賞与に関する実態調査
調査地域	全国
調査方法	インターネット調査
対象者	正社員で勤務する25・30・35歳の転職意向のある方で、2017年夏に賞与が支給された方
回答数	480名

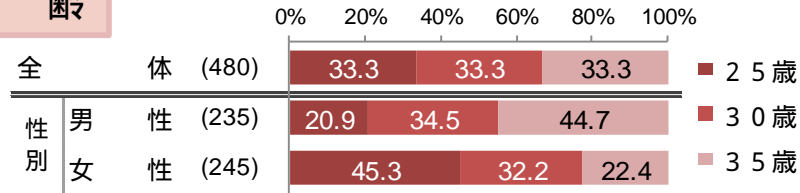
業種	25歳	30歳	35歳	合計
合計	160	160	160	480
IT・通信・インターネット	20	20	20	60
製造・メーカー	20	20	20	60
サービス・レジャー	20	20	20	60
流通・小売・フード	20	20	20	60
金融・保険	20	20	20	60
不動産・建設・設備	20	20	20	60
運輸・交通・物流・倉庫	20	20	20	60
医療・福祉	20	20	20	60

実施期間 2017年7月14日（金）～7月20日（木）

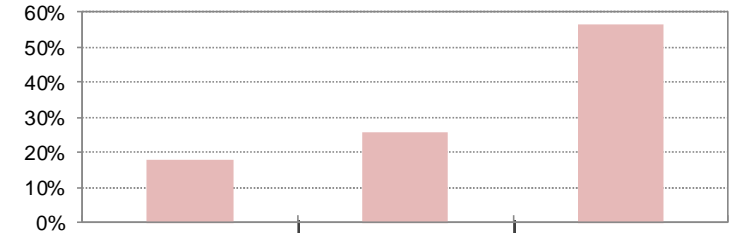
実施機関 外部調査会社

調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

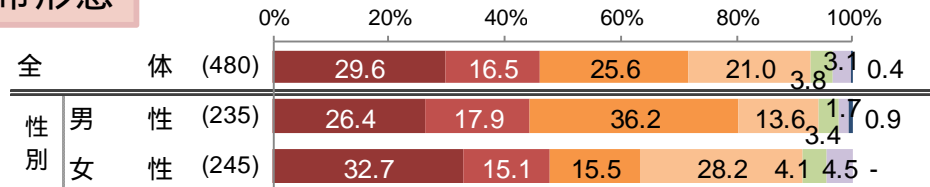
## 年齢



## 企業規模 (従業員数)



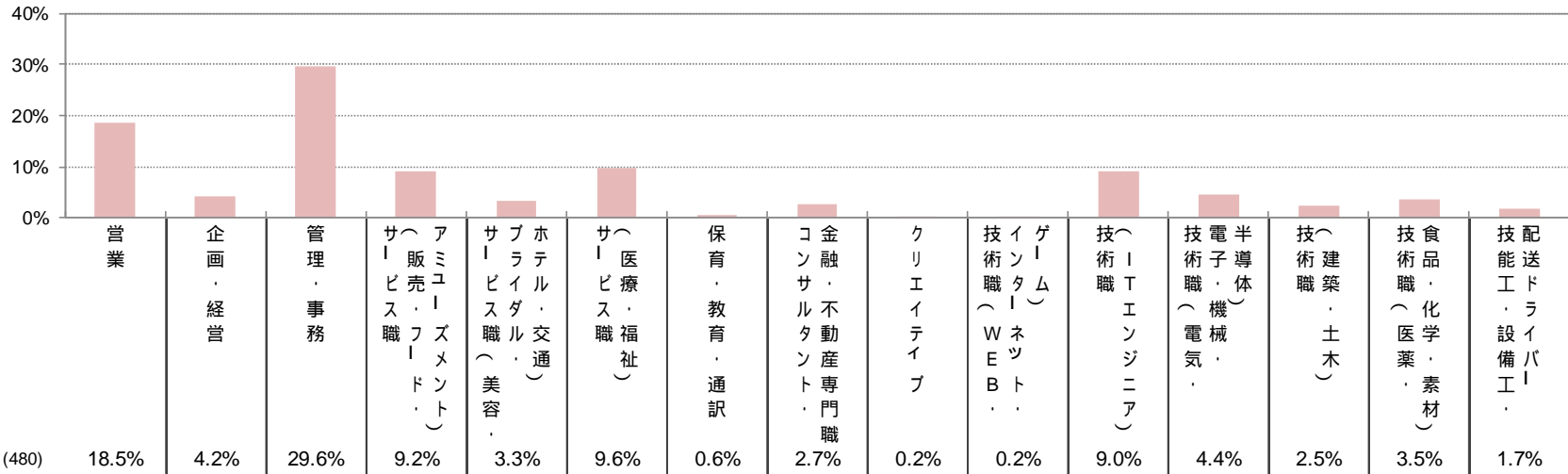
## 世帯形態



- 単身世帯
- 夫婦のみ・カップルのみの世帯
- 自分と子供の2世代世帯
- 親と自分の2世代世帯
- 自分の子を含む3世代以上の同居 (親・自分・子)
- 自分の子を含まない3世代以上の同居 (祖父母・親・自分)
- 兄弟姉妹または友人同士の同居

性別	人数	60人未満	60~299人	300人以上
全体	480	18.1%	25.6%	56.3%
男性	235	17.0%	27.2%	55.7%
女性	245	19.2%	24.1%	56.7%
年齢				
25歳	160	12.5%	25.6%	61.9%
30歳	160	20.0%	30.6%	49.4%
35歳	160	21.9%	20.6%	57.5%

## 職種



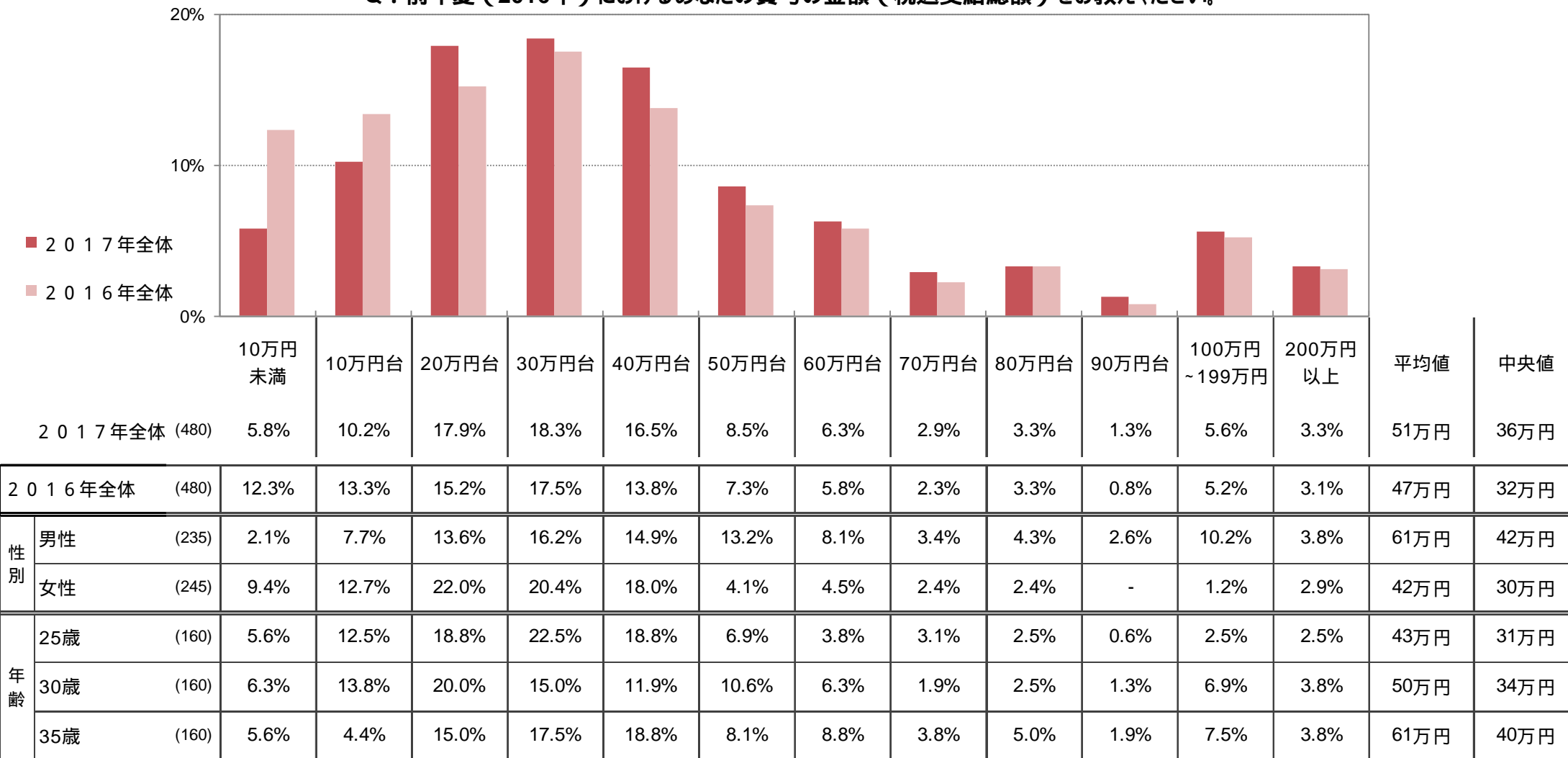
性別	人数	営業	企画・経営	管理・事務	サ(販売・サービス)	ア(販売・サービス)	サ(医療・福祉)	保育・教育・通訳	金融・不動産・専門職	クリエイティブ	技術職 (インターネット)	技術職 (エンジニア)	電子・機械・半導体	技術職 (建築・土木)	食品・化学・素材	配送・ドラッグ・設備
男性	235	23.4%	5.5%	16.2%	7.7%	3.4%	4.3%	0.4%	3.0%	-	0.4%	14.0%	8.9%	3.4%	5.1%	3.4%
女性	245	13.9%	2.9%	42.4%	10.6%	3.3%	14.7%	0.8%	2.4%	0.4%	-	4.1%	-	1.6%	2.0%	-
年齢																
25歳	160	18.1%	1.9%	35.0%	9.4%	5.6%	7.5%	0.6%	3.1%	-	0.6%	7.5%	1.3%	1.3%	5.6%	1.3%
30歳	160	16.9%	5.6%	30.0%	10.6%	1.3%	11.9%	-	1.3%	0.6%	-	9.4%	4.4%	4.4%	1.9%	0.6%
35歳	160	20.6%	5.0%	23.8%	7.5%	3.1%	9.4%	1.3%	3.8%	-	-	10.0%	7.5%	1.9%	3.1%	3.1%

# (1) 夏の賞与額 (額面)

全体では、平均値は51万円で、中央値は36万円。「30万円台」が18.3%、「20万円台」が17.9%と続き、「10万円台」から「50万円台」までが7割を占める。  
 2016年と比較すると、「10万円台」以下が減少、「20万円台」以上が増加しており、平均値(16年:47万円)と中央値(16年:32万円)でも2017年が増加している。  
 男女別にみると、『男性』は平均値が61万円、中央値が42万円、『女性』は平均値が42万円、中央値が30万円と、男性の方が高い。

Q. この夏(2017年)におけるあなたの賞与の金額(税込支給総額)をお教えてください。

Q. 前年夏(2016年)におけるあなたの賞与の金額(税込支給総額)をお教えてください。



: 全体より+10pt.以上      : 全体より-10pt.以下

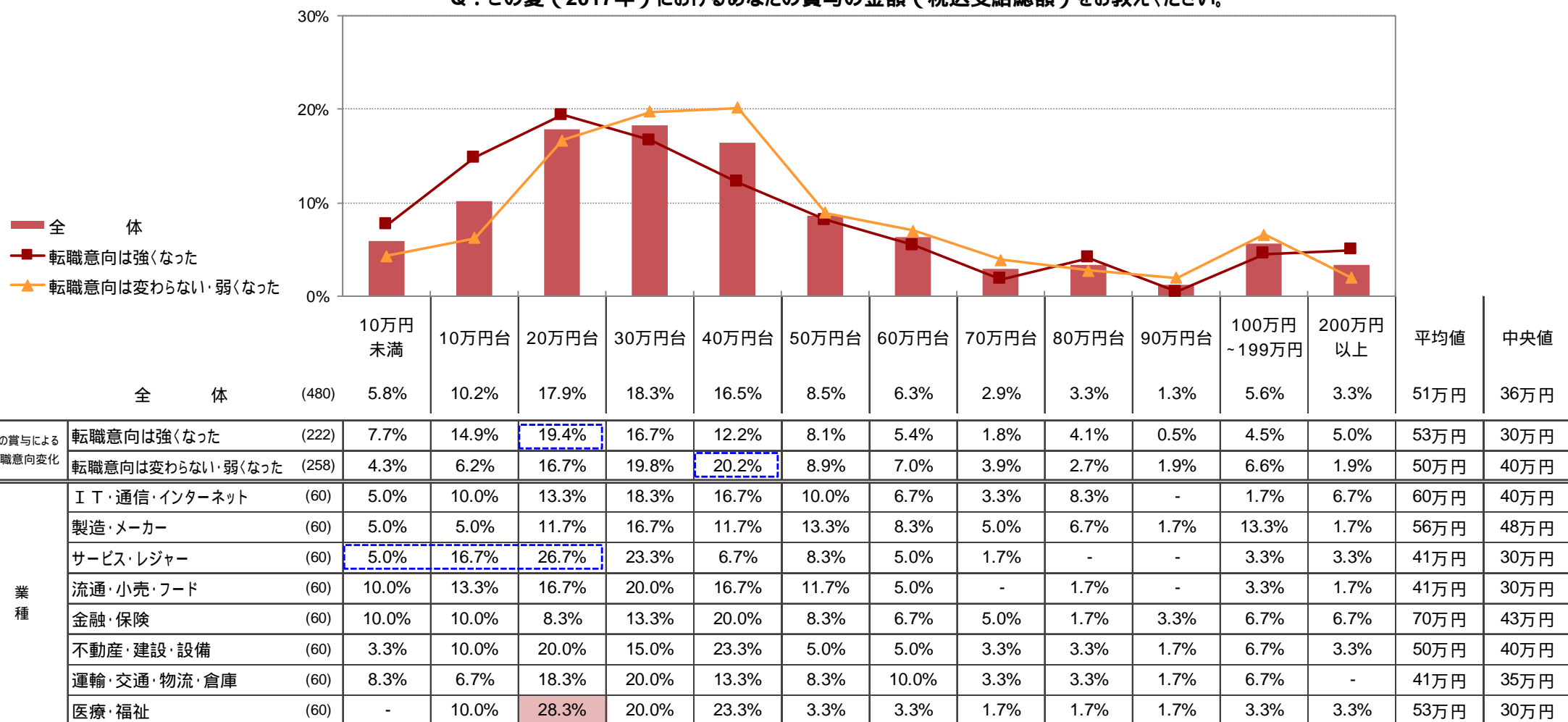
## (2) 夏の賞与額 (額面)

夏の賞与による転職意向変化の別にみると、『転職意向は強くなった』層の中央値は30万円、最多層は「20万円台」(19.4%)。『転職意向は変わらない・弱くなった』層の中央値は40万円、最多層は「40万円台」(20.2%)。転職意向を強めた層は賞与額が低い傾向がみられる。

### 【職種別】

・中央値は『製造・メーカー』が48万円と最も高く、平均値は『金融・保険』が70万円で最も高い。『サービス・レジャー』は30万円未満が約5割で、賞与額が低い人が多い。

Q. この夏(2017年)におけるあなたの賞与の金額(税込支給総額)をお教えてください。



: 全体より+10pt.以上

: 全体より-10pt.以下

# (3) 前年と比較した夏の賞与増減

全体では、「前年と変わらない」が約半数を占め、「賞与額増加」は36.4%、「賞与額減少」は11.6%となっている。年齢別にみると、25歳では増加計が42.6%と、年齢が低いほど賞与額が増加する割合が高い。

### 【業種別の特徴】

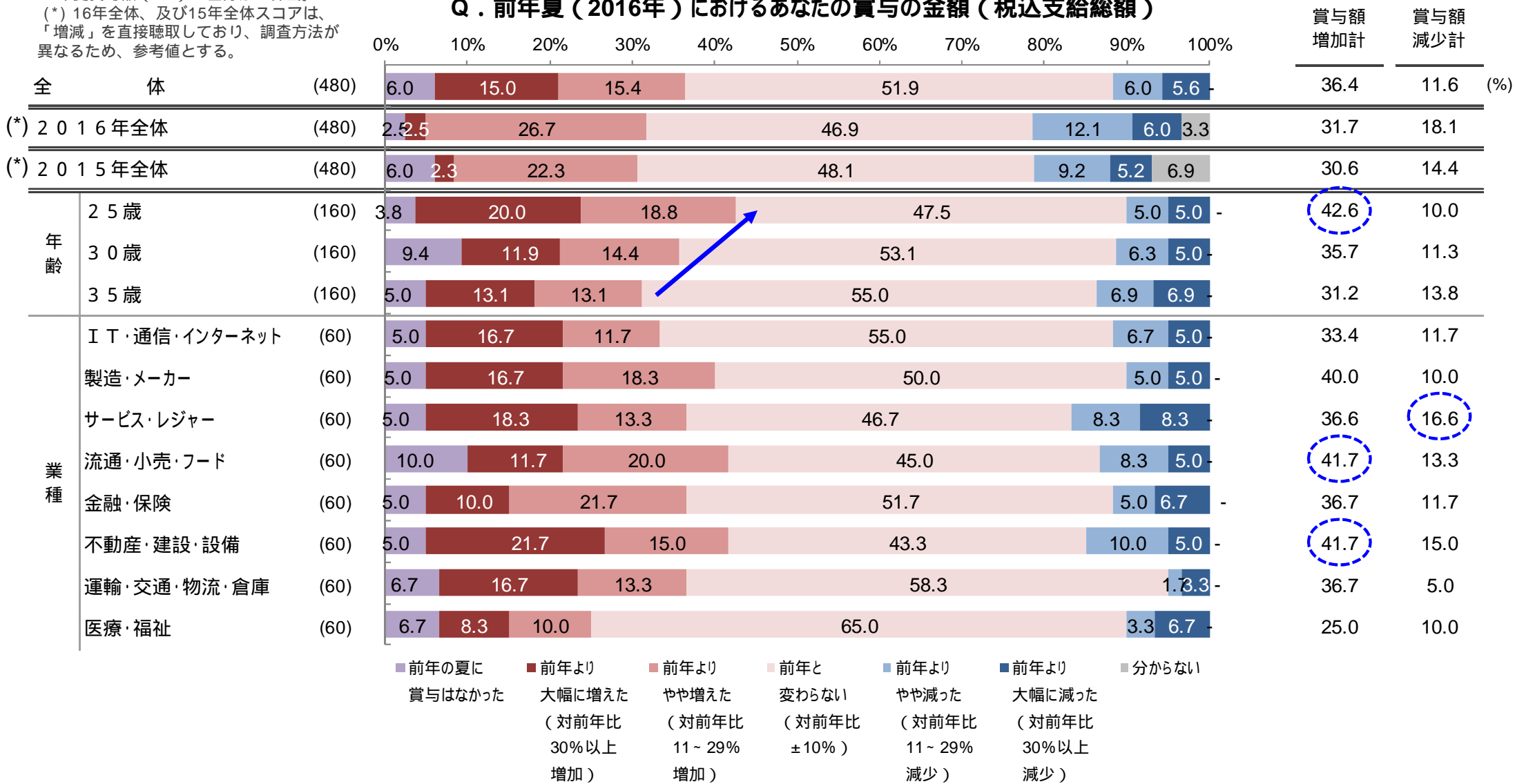
- ・『流通・小売・フード』『不動産・建設・設備』は、「賞与額増加」が41.7%で、他の業種と比較して賞与額が増加した割合が高い。
- ・一方、『サービス・レジャー』は、「賞与額減少」が16.6%で、他の業種と比較して賞与額が減少した割合が高い。

17年のスコアは、17年夏賞与額（Q1）と16年夏賞与額（Q2）の差分から算出。

(\*) 16年全体、及び15年全体スコアは、「増減」を直接聴取しており、調査方法が異なるため、参考値とする。

Q. この夏（2017年）におけるあなたの賞与の金額（税込支給総額）

Q. 前年夏（2016年）におけるあなたの賞与の金額（税込支給総額）



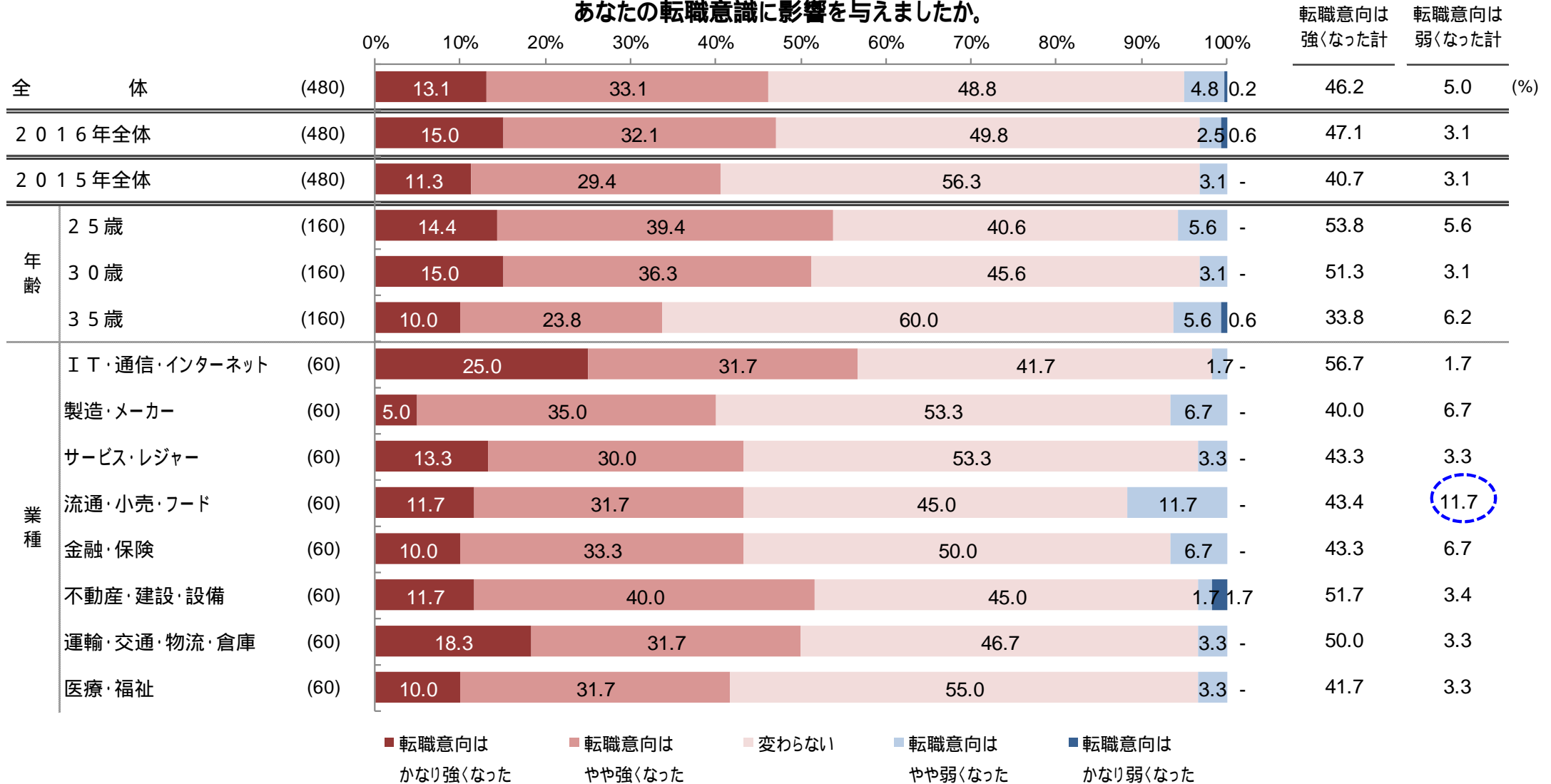
# (4) 夏の賞与による転職意向の変化

全体では、「転職意向は強くなった」が46.2%で、2016年に比べて大きな変化はない。年齢別にみると、『35歳』では「転職意向は強くなった」が全体より10pt以上低い。

## 【業種別】

・『IT・通信・インターネット』は、「転職意向は強くなった」が56.7%と最も高い。反対に「転職意向は強くなった」が最も低いのは『製造・メーカー』（40.0%）。なお、『流通小売・フード』は、「転職意向は弱くなった計」が11.7%で他の業種に比べて高く、元々賞与額平均の高い『不動産・建設・設備』以上に、賞与額増加が影響している可能性がある。

### Q. この夏（2017年）におけるあなたの賞与の金額は、 あなたの転職意識に影響を与えましたか。

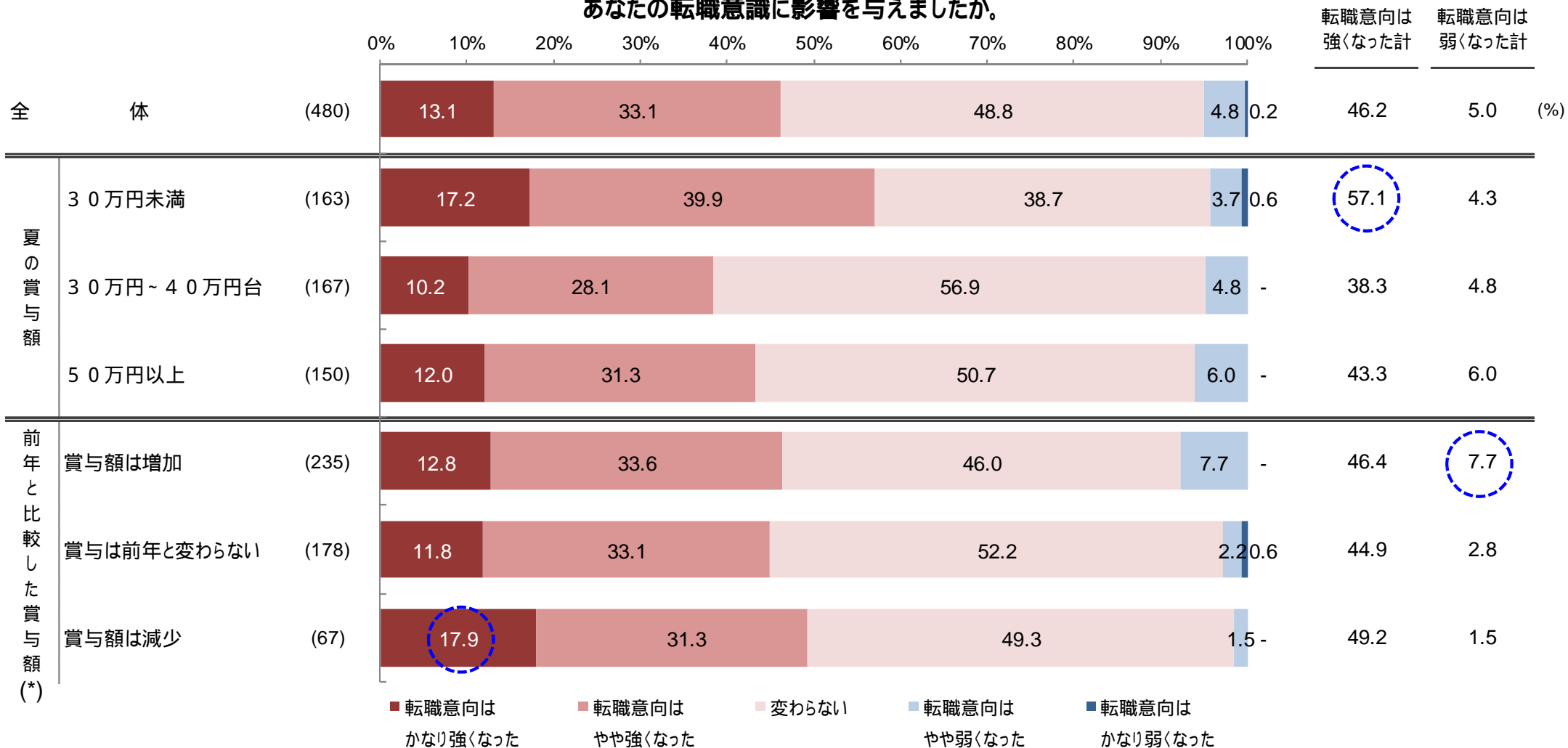


# (5) 夏の賞与による転職意向の変化

賞与額別に転職意識に与える影響をみると、『30万円未満』では「転職意向は強くなった」が6割近くを占め、『30万円～40万円台』（38.3%）、『50万円以上』（43.3%）に比べて高い。賞与額が低いと転職意向が強まるとみられる。

前年比較による賞与額増減の転職意識別では、「転職意向はかなり強くなった」が『賞与額は減少』層で17.9%で、『前年と変わらない』層（11.8%）や『増加』層（12.8%）に比べて高い。なお、『賞与額は増加』層は、「転職意向は弱くなった計」が7.7%で、他の層より高い。賞与額の減少が転職意向を強める傾向があると推察される。

Q. この夏（2017年）におけるあなたの賞与の金額は、  
あなたの転職意識に影響を与えましたか。



\* 「前年と比較した賞与額」の区分は、17年夏賞与額（Q1）と16年夏賞与額（Q2）の差分から算出して分類

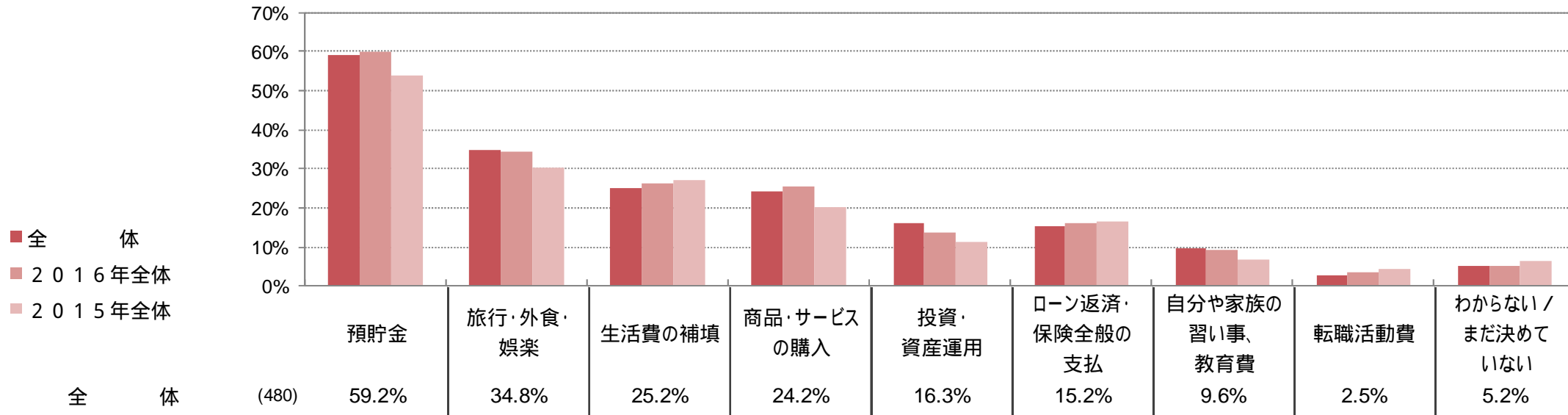


# (6) 夏の賞与の使い道

全体では、「預貯金」が59.2%で最も高く、「旅行・外食・娯楽」が34.8%、「生活費の補填」が25.2%で続く。2016年と比べて大きな変化はない。年齢別にみると、『35歳』は「生活費の補填」と「投資・資産運用」が他の年齢に比べて高い。

【世帯形態別】  
 ・夫婦・カップルのみ世帯は、「旅行・外食・娯楽」が39.2%と他の世帯より高く、単身や夫婦・カップルを除く子なし世帯も41.5%で高い。一方、子あり世帯は、「預貯金」(49.6%)と「旅行・外食・娯楽」(28.4%)が他の世帯よりも低く、「生活費の補填」(29.8%)と「ローン返済・保険全般の支払」(22.0%)が他の世帯よりも高いことから、遊びや趣味、贅沢品の購入といった使い道よりは、生活に必要な用途へあてられる傾向が高いとみられる。

Q. この夏(2017年)におけるあなたの賞与の使い道について、あてはまるものをお選びください。



年齢	25歳	30歳	35歳
	(160)	(160)	(160)
25歳	61.9%	60.0%	55.6%
30歳	38.1%	34.4%	31.9%
35歳	23.1%	21.3%	31.3%
商品・サービスの購入	25.6%	20.6%	26.3%
投資・資産運用	12.5%	13.8%	22.5%
ローン返済・保険全般の支払	13.1%	13.8%	18.8%
自分や家族の習い事、教育費	12.5%	6.9%	9.4%
転職活動費	2.5%	1.9%	3.1%
わからない/まだ決めていない	5.0%	6.3%	4.4%

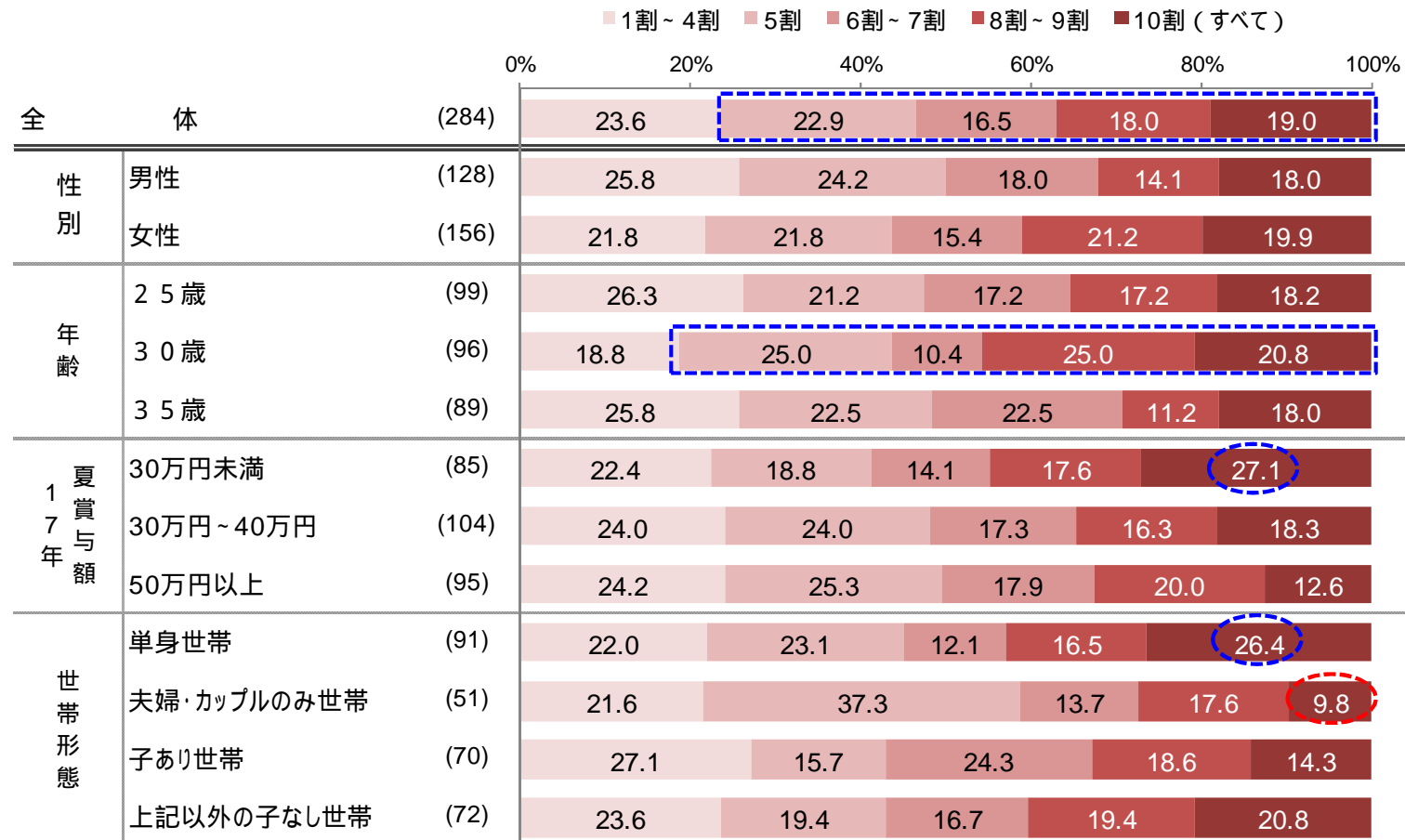
世帯形態	単身世帯	夫婦・カップルのみ世帯	子あり世帯	上記以外の子なし世帯
	(142)	(79)	(141)	(118)
単身世帯	64.1%	64.6%	49.6%	61.0%
夫婦・カップルのみ世帯	33.1%	39.2%	28.4%	41.5%
子あり世帯	23.9%	22.8%	29.8%	22.9%
上記以外の子なし世帯	27.5%	27.8%	16.3%	27.1%
投資・資産運用	15.5%	19.0%	18.4%	12.7%
ローン返済・保険全般の支払	8.5%	15.2%	22.0%	15.3%
自分や家族の習い事、教育費	8.5%	10.1%	11.3%	8.5%
転職活動費	3.5%	-	2.1%	3.4%
わからない/まだ決めていない	4.9%	2.5%	8.5%	3.4%

# (7) 夏の賞与の預貯金割合

夏の賞与の預貯金の割合は、5割以上が8割弱を占め、4人に3人程度が夏の賞与額の半分以上を貯金しているとみられる。なお、全額(すべて)は19.0%を占めている。年齢別では、30歳で、賞与を半分以上貯金する割合が8割以上と高い。賞与額別では、「30万円未満」は、全額(すべて)が27.1%と、30万円以上の人と比べて高い。

【世帯形態別】  
 ・単身世帯は、賞与の貯金割合が10割(すべて)が26.4%と高い。夫婦・カップルのみ世帯は、5割が最多(37.3%)で他の世帯に比べて高く、全額(すべて)は9.8%と最も低い。

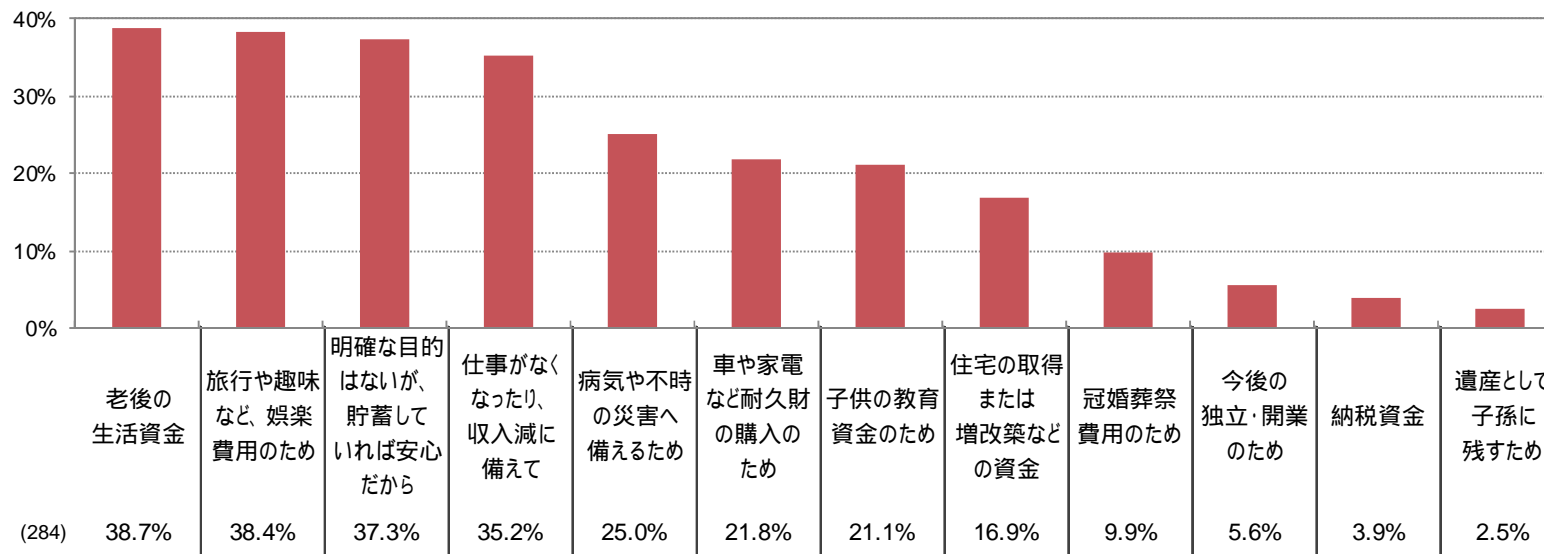
Q. 前問で、夏の賞与の使い道について、「預貯金」と答えた方にお聞きします。  
 夏の賞与を何割貯金しますか。



# ( 8 ) 預貯金の目的

全体では、「老後の生活資金」が38.7%と最も高い。  
 男女別にみると、『男性』は「明確な目的はないが、貯蓄していれば安心だから」が32.8%で最も高く、『女性』は「旅行や趣味など、娯楽費用のため」が46.2%で最も高い。  
 年齢別では、『35歳』は「老後の生活資金」(48.3%)「仕事がなくなったり、収入減に備えて」(41.6%)「子供の教育資金のため」(31.5%)が他の年齢より高く、預貯金の目的が決まっている傾向が高い。世帯形態別では、単身世帯では「仕事がなくなったり、収入減に備えて」(46.2%)が、夫婦・カップルのみ世帯では「旅行や趣味など、娯楽費用のため」(49.0%)が、子あり世帯は「子供の教育資金のため」(62.9%)がそれぞれ最も高い。

Q. 夏の賞与の使い道について、「預貯金」と答えた方にお聞きます。あなたは、どのような目的で「預貯金」をしていますか。



性別	男性	(128)	30.5%	28.9%	32.8%	30.5%	20.3%	23.4%	24.2%	21.9%	8.6%	8.6%	5.5%	3.1%
	女性	(156)	45.5%	46.2%	41.0%	39.1%	28.8%	20.5%	18.6%	12.8%	10.9%	3.2%	2.6%	1.9%
年齢	25歳	(99)	31.3%	41.4%	41.4%	31.3%	21.2%	20.2%	9.1%	10.1%	10.1%	7.1%	5.1%	2.0%
	30歳	(96)	37.5%	33.3%	40.6%	33.3%	30.2%	22.9%	24.0%	25.0%	8.3%	1.0%	2.1%	3.1%
	35歳	(89)	48.3%	40.4%	29.2%	41.6%	23.6%	22.5%	31.5%	15.7%	11.2%	9.0%	4.5%	2.2%
夏の賞与による 転職意向変化	転職意向は強くなった	(113)	31.9%	35.4%	32.7%	36.3%	24.8%	21.2%	20.4%	16.8%	8.0%	8.8%	8.8%	3.5%
	転職意向は変わらない・弱くなった	(171)	43.3%	40.4%	40.4%	34.5%	25.1%	22.2%	21.6%	17.0%	11.1%	3.5%	0.6%	1.8%
世帯形態	単身世帯	(91)	36.3%	40.7%	45.1%	46.2%	19.8%	13.2%	5.5%	4.4%	11.0%	3.3%	3.3%	3.3%
	夫婦・カップルのみ世帯	(51)	43.1%	49.0%	31.4%	27.5%	35.3%	33.3%	21.6%	39.2%	11.8%	3.9%	-	7.8%
	子あり世帯	(70)	31.4%	25.7%	25.7%	24.3%	24.3%	27.1%	62.9%	27.1%	5.7%	10.0%	4.3%	-
	上記以外の子なし世帯	(72)	45.8%	40.3%	43.1%	37.5%	25.0%	19.4%	-	6.9%	11.1%	5.6%	6.9%	-

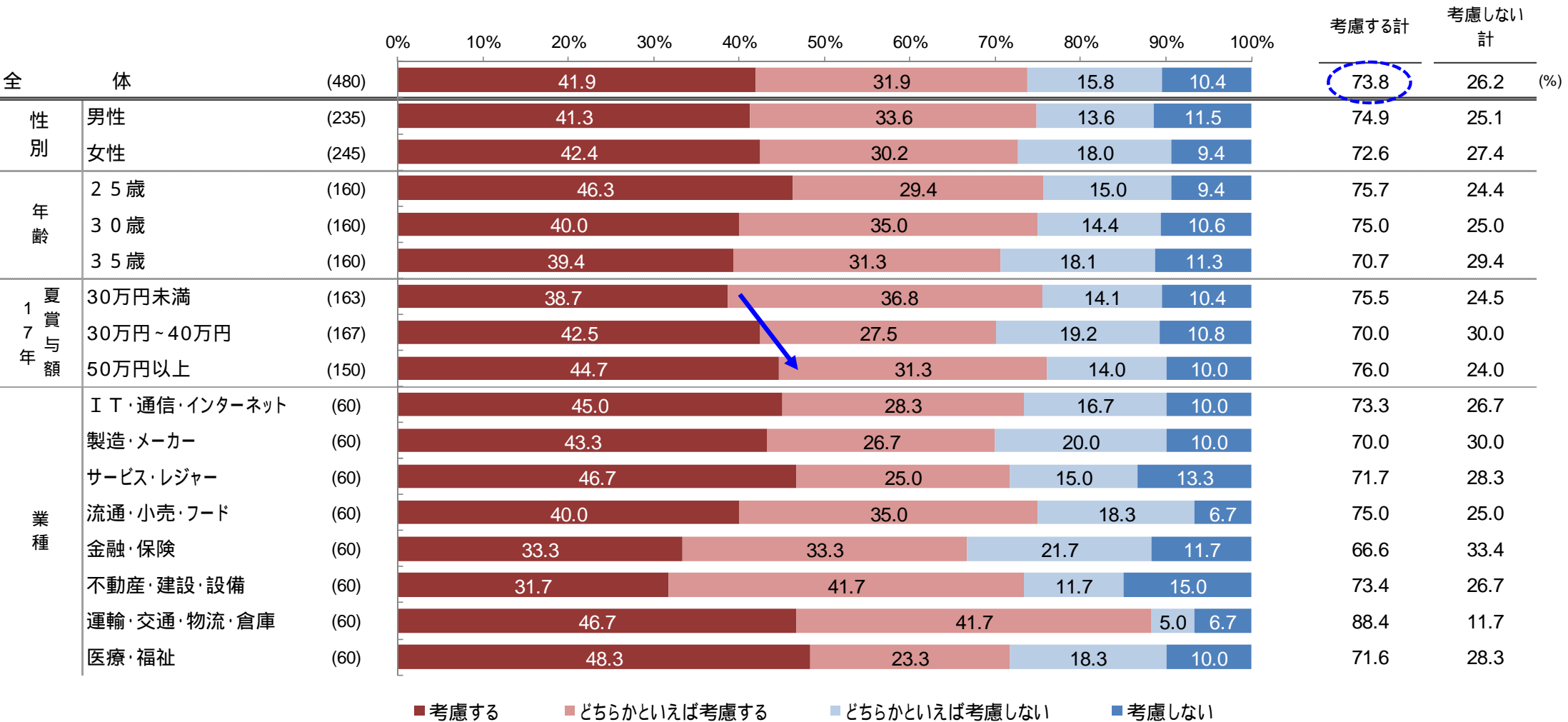
: 全体より+10pt.以上      : 全体より-10pt.以下

# (9) 賞与時期による転職時期の考慮度合い

全体では、転職時期を決める際に賞与の時期を「考慮する」と答えた人は73.8%で、転職時期への影響度は高いと推察される。賞与額別でみると、賞与が高くなるほど、時期を「考慮する」割合が高くなる。男女別、年齢別には、大きな差はみられない。

【業種別】  
 ・『運輸・交通・物流・倉庫』は「考慮する」計が88.4%と最も高い。反対に最も低かったのは、賞与額が高めの『金融・保険』で66.6%。

Q. あなたは転職時期を決める際、賞与の時期を考慮しますか。



全体では、「『お金』の方が大事」計と答えた人が53.1%で、「『時間』の方が大事」計の46.9%を上回った。  
男女別にみると、「男性」の方が、「お金」>「時間」の傾向がやや強い。

【世帯形態別】  
・『子あり世帯』は「お金」>「時間」の傾向が最も強い。子どもの教育費用の影響が高いと推察できる。  
唯一『子なし世帯（単身、夫婦・カップル世帯を除く）』で、「『時間』の方が大事」計が54.2%で、「時間」が「お金」を上回った。家族と一緒に過ごす時間を大事だと思う人が多いと考えられる。

## Q. あなたにとって、「お金」と「時間」はどちらの方が大事ですか。

